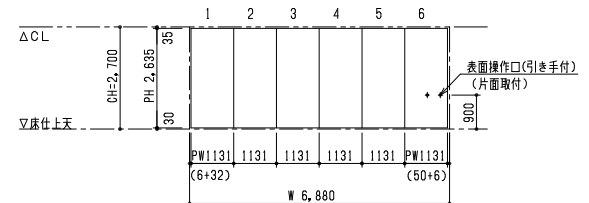
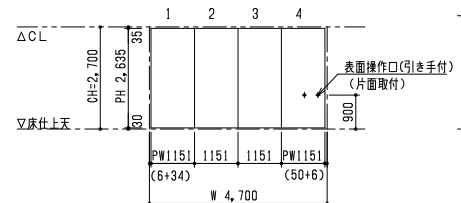


1階平面図 S=1:100
 * 表面操作口取付側
 □ ... 天井点検口 (天井工事)

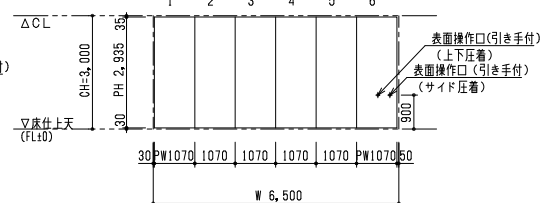
1 スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量170kg/枚



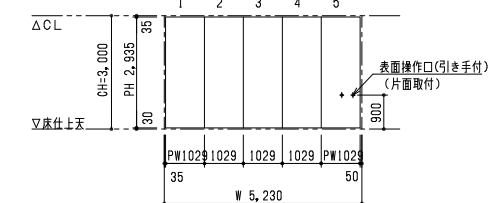
2 8 スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量170kg/枚



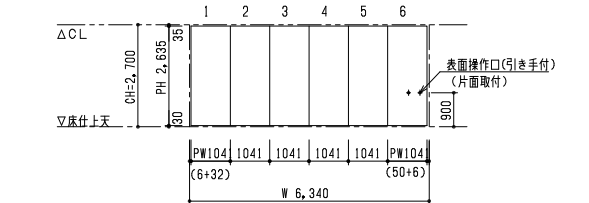
3A 3B スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量160kg/枚



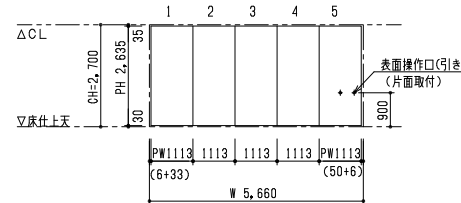
4A 4B スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量155kg/枚



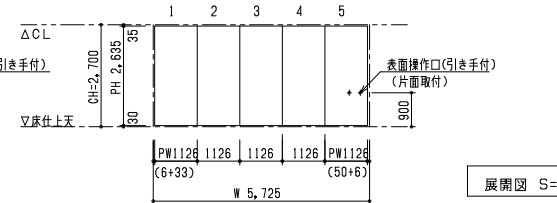
5 スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量155kg/枚



6 スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量175kg/枚



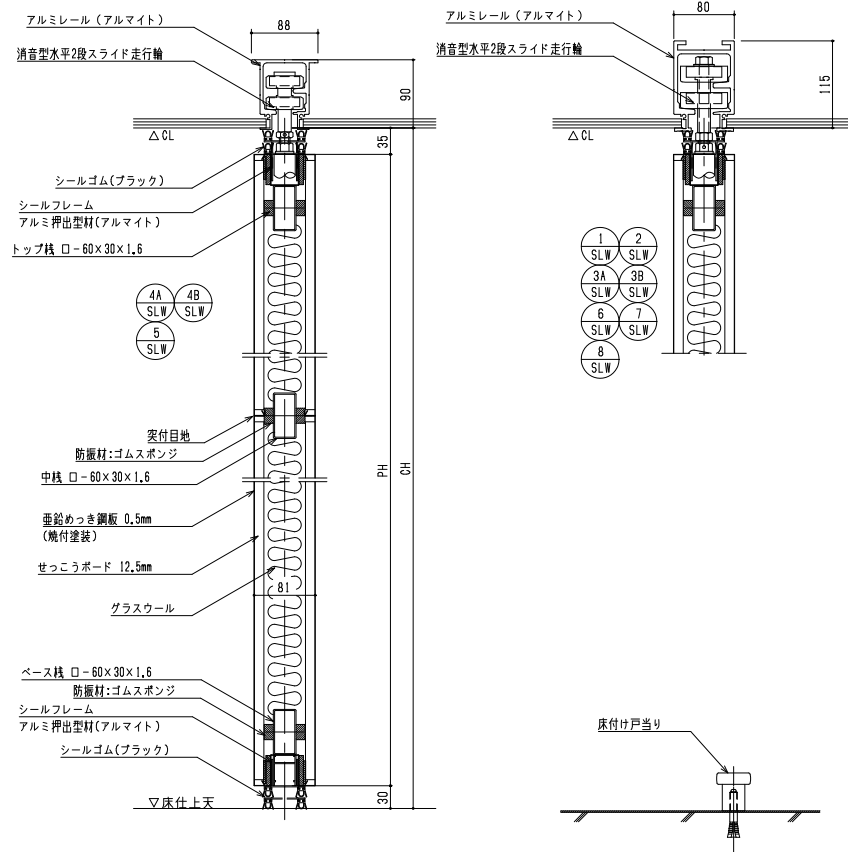
7 スライディングウォール厚み81mm
 SLW/パネル重量170kg/枚



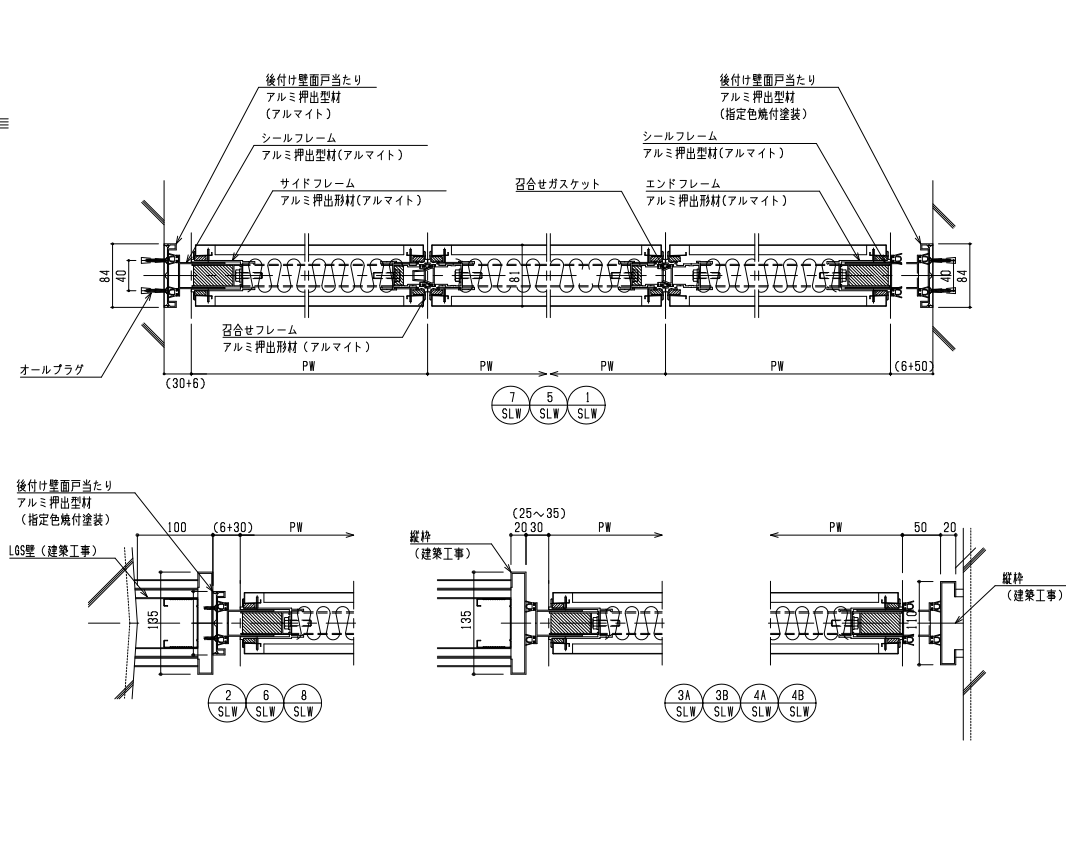
展開図 S=1:100

スライディングウォール 厚み81mm

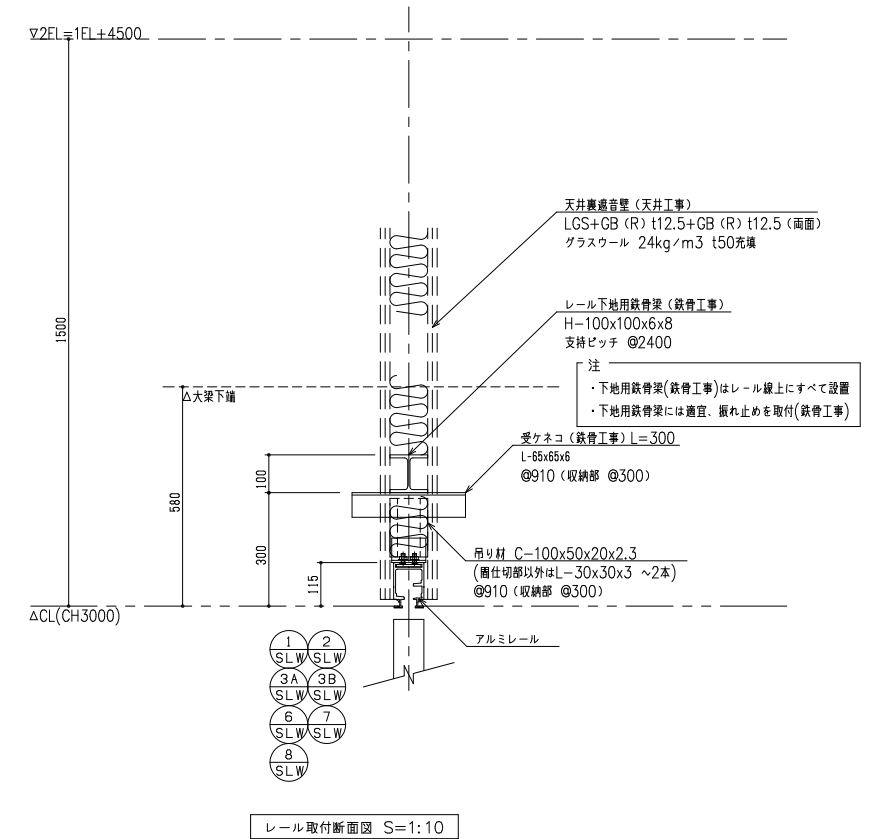
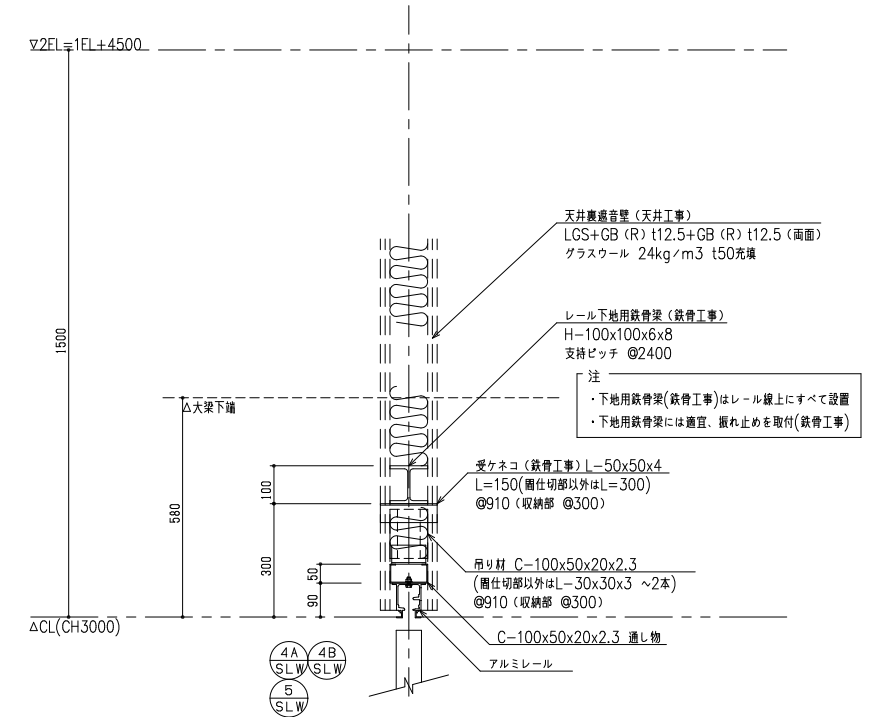
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
	コーナー部	直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装) 下張り: せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出型材(アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
パネル分離型構造(廃業時分別可能) ... 環境対応型		



縦断面詳細図 S=1:5 <スライディングウォール 厚み81mm>



横断面詳細図 S=1:5



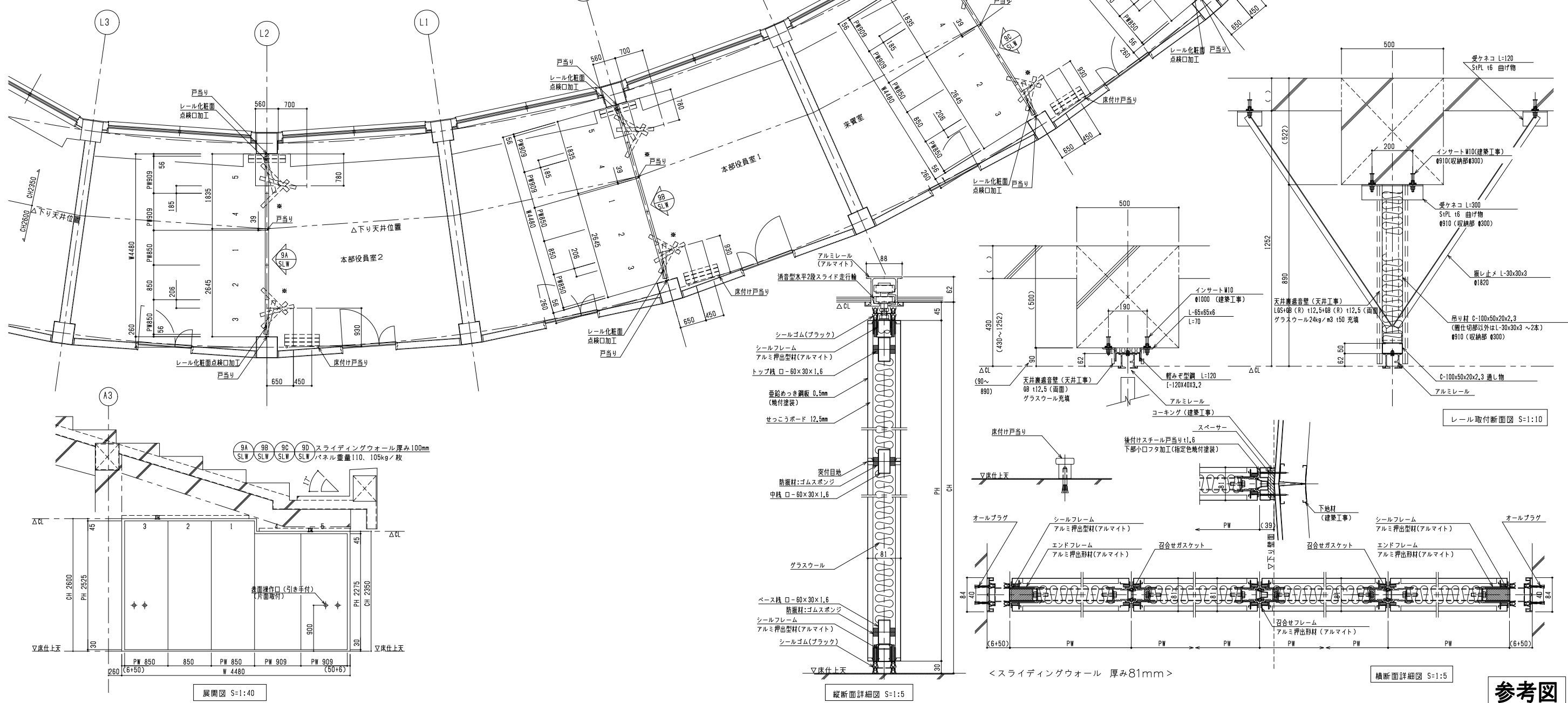
レール取付断面図 S=1:10

参考図

一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匡希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽	一級建築士 第000000号 高原 正行	法適合確認欄 設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	検証者 外山 博文	設計番号 17992	特記	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事 (第1工区) ●図面名 移動間仕切詳細図(2)	●図面番号 A-116 ●縮尺 A1:1/5 A3:1/10	 AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第11050号	 株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office 一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第11050号
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------------------	--------------	---------------	----	-------------	---	--	---	--

スライディングウォール 厚み81mm

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.8mm (焼付塗装) 下張り: せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出型材(アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型		



参考図

<table border="0"> <tr> <td>一級建築士 第286776号 渡邊 和幸</td> <td>一級建築士 第298249号 土生 達哉</td> <td>一級建築士 第386121号 山本 匠希</td> <td>一級建築士 第000000号 梅垣 大雅</td> <td>一級建築士 第313839号 池田 葵</td> <td>一級建築士 第313839号 高原 正行</td> <td>設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明</td> <td>検査者 外山 博文</td> <td>設計番号 17992</td> <td>特記</td> <td>徳島県県土整備部営繕課 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(第1工区) ●工事名 ●図面名 移動間仕切詳細図(3)</td> <td>●図面番号 A-117 ●縮尺 A1:1/5, 40, 100 A3:1/10, 80, 200</td> <td> <p>AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所登録 大阪(ウ)第3204号</p> </td> <td> <p>株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office 一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第1105号</p> </td> </tr> </table>	一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 葵	一級建築士 第313839号 高原 正行	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	検査者 外山 博文	設計番号 17992	特記	徳島県県土整備部営繕課 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(第1工区) ●工事名 ●図面名 移動間仕切詳細図(3)	●図面番号 A-117 ●縮尺 A1:1/5, 40, 100 A3:1/10, 80, 200	<p>AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所登録 大阪(ウ)第3204号</p>	<p>株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office 一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第1105号</p>
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 葵	一級建築士 第313839号 高原 正行	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	検査者 外山 博文	設計番号 17992	特記	徳島県県土整備部営繕課 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(第1工区) ●工事名 ●図面名 移動間仕切詳細図(3)	●図面番号 A-117 ●縮尺 A1:1/5, 40, 100 A3:1/10, 80, 200	<p>AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所登録 大阪(ウ)第3204号</p>	<p>株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office 一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第1105号</p>	

<p>D1-1 コンクリート外壁目地の標準仕様 1</p> <p>1. 一般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 伸縮調整目地が必要な場合は原則柱際に、$\phi 3,000$以内の壁の外側に設ける。……▲ 柱間に設けられない場合は、柱より1500までの間に設ける。 伸縮調整目地深さは壁厚$\times 1/6 \sim 1/4$（内外合計）とする。……●+① バラベットの内側には目地を設けない。……● 開口部水切りは、金属製が望ましい。 シーリング材は、仕上げありの場合は、ポリサルファイド系（PS-2）とし、仕上げなしの場合は、変成シリコン系（MS-2）とする。 壁厚300~400以上であれば、伸縮調整目地は不要。 <p>2. 外壁仕上げ材の有無による「打増し」は以下とする。</p> <table border="1"> <tr><td>仕上げ</td><td>打増し</td></tr> <tr><td>コンクリート打放し</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>タイル型特殊付</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>タイル張り50×100以下ユニット工法</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>タイル張り積上げ工法</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>タイル張り密着張り工法</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>石張り全工法</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>石張り空積み工法</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>石張り乾式工法</td><td>20mm</td></tr> <tr><td>金属板張り等</td><td>20mm</td></tr> </table> <p>3. 内壁打増しコンクリートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ※打放し仕上でない場合はフカシ不要。（国交省仕様はゼロ） ※コンクリートがぶり厚さも仕上げの有無で変わる。 <p>4. 目地配置</p> <p>化粧目地（縦及び横目地）① 打増し目地（横目地）② 電線誘発目地（縦目地）③</p> <p>縦目地：開口部、一般部、打増し目地 横目地：開口部、一般部、打増し目地</p>	仕上げ	打増し	コンクリート打放し	20mm	タイル型特殊付	20mm	タイル張り50×100以下ユニット工法	20mm	タイル張り積上げ工法	20mm	タイル張り密着張り工法	20mm	石張り全工法	20mm	石張り空積み工法	20mm	石張り乾式工法	20mm	金属板張り等	20mm	<p>D1-2 コンクリート外壁目地の標準仕様 2</p> <p>シーリング材の上に付けて問題がないことが判っている場合は、下図を標準とする。</p> <p>内部打放しの場合 モルタル仕上げの場合 断熱材打込みの場合（外部側コンクリート打放し以外の場合）</p> <p>□誘発目地の②+③は①の1/5~1/4とする</p>	<p>D1-4 コンクリート外壁目地（コンクリート化粧打放しの場合）</p> <p>伸縮調整目地（打増し目地） 伸縮調整目地（誘発目地）</p>	<p>D1-7 床：スラブ防湿</p> <p>□再生クラッシャーランには使用箇所により、切込み砂利・切込み砕石を用いてもよい。 □防湿層は、ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上とし、重ね合わせ及び基礎梁際のみ込みは、250mm以上とする。</p>	<p>D1-8 床：スラブ断熱・防湿</p> <p>□再生クラッシャーランには使用箇所により、切込み砂利・切込み砕石を用いてもよい。 □断熱材の厚さは断面性能表による。 □防湿層は、ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上とし、重ね合わせ及び基礎梁際のみ込みは、250mm以上とする。</p>			
仕上げ	打増し																										
コンクリート打放し	20mm																										
タイル型特殊付	20mm																										
タイル張り50×100以下ユニット工法	20mm																										
タイル張り積上げ工法	20mm																										
タイル張り密着張り工法	20mm																										
石張り全工法	20mm																										
石張り空積み工法	20mm																										
石張り乾式工法	20mm																										
金属板張り等	20mm																										
<p>D1-3 コンクリート外壁目地の標準仕様 3（構造スリット）</p> <p>断面（C部） 平面（B、D部）</p>	<p>D1-5 コンクリートスラブ打増しコンクリート</p> <p>床：構造スラブ厚（構造図による） 床：構造スラブ厚（構造図による）</p> <p>D1-6 構造スリット</p> <p>（構造図▼図示箇所）ポリサルファイドシーリング30×10</p>	<p>D1-9 耐火被覆：RC造・SRC造梁貫通部（耐火区画）</p> <p>スリーブ1ヶ所に貫通配管が1本の場合</p> <p>□コンクリートブロック等の場合にも準ずる。</p>	<p>D1-10 耐火被覆：RC造・SRC造壁貫通部（耐火区画）</p> <p>スリーブ1ヶ所に貫通配管が複数ある場合</p>	<p>D1-11 地下外壁：防水・水抜き</p> <p>□人通り・水抜きの位置は、構造図・架伏図による。（過気管は水抜きの上部とする。）</p>	<p>D1-12 地下外壁：防水立上り</p> <p>□配管ピットは防水モルタル仕上とする。 □湧水水櫃、排水櫃のみ塗膜防水とする。</p>	<p>D1-14 釜場</p> <p>D1-15 コーナー：コンクリート打放し（利用者ゾーン）</p> <p>D1-16 コーナー：コンクリート打放し（機械室・器具室・PS・DS・EPS等）</p>	<p>D1-19 耐火被覆：S造梁貫通部 ロックウール取付け</p> <p>D1-20 断熱材範囲</p> <p>断熱材打込み（標準地及び暖地の場合） 屋根が断熱防水の場合</p>	<p>D1-23 小出槽</p>																			
<p>D1-13 タップ（ピット内）</p> <p>□材質はステンレスSUS304 HLとする</p>	<p>D1-17 土間コンクリート伸縮調整目地（RCにて仕上げ）</p> <p>土間コンクリートにて仕上げの場合</p>	<p>D1-18 コンクリート内壁打増しコンクリート</p> <p>□ウェットエリアに面した部位の打増しは20以上とする</p> <p>D1-21 床区画貫通部詳細図</p> <p>D1-22 囲仕切壁区画貫通部詳細図</p>	<p>D1-24 屋上バラベットの（露出排水・アルミ笠木・外断熱）</p> <p>打放しの場合</p>	<p>D1-25 小出槽</p>																							
<p>設計者</p> <table border="1"> <tr> <td>一級建築士 第286776号 渡邊 和幸</td> <td>一級建築士 第298249号 土生 達哉</td> <td>一級建築士 第386121号 山本 匠希</td> <td>一級建築士 第000000号 梅垣 大雅</td> <td>一級建築士 第313839号 池田 爽</td> <td>一級建築士 第000000号 高原 正行</td> </tr> </table> <p>法適合確認欄</p> <table border="1"> <tr> <td>設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明</td> <td>検査者 外山 博文</td> </tr> </table> <p>設計番号 17992</p> <p>特記</p>					一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽	一級建築士 第000000号 高原 正行	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	検査者 外山 博文	<p>●工事名 徳島県県立総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事（第1工区）</p> <p>●図面番号 A-119</p> <p>●図面名 部分詳細図（1）</p> <p>●縮尺 図示/2(A3)</p>					<p>徳島県県立整備部営繕課</p> <p>徳島県県立総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事（第1工区）</p> <p>●図面番号 A-119</p> <p>●縮尺 図示/2(A3)</p>					<p>株式会社 AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants</p> <p>株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office</p> <p>一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第1105号</p>				
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽	一級建築士 第000000号 高原 正行																						
設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	検査者 外山 博文																										

D2-1 屋根廻り共通事項-1

1. 適用範囲

- この共通事項は寒冷地には適用しない。
- 材料仕様は詳細図に特記なき限り、特記仕様書に記載すること。

2. パラペット

- 立上がりコンクリート厚さ 180mm 以上とし、配筋は構造図による。
- 立上りコンクリートは一体打ちとする。
- あごに水切りを設ける。
- 押出成形セメント板受アルミレールを止めるリベットは押入コンクリート筋部より30mm以上確保する。
- 防水層立上がり寸法
 - 保護コンクリートを設ける場合 水上床躯体面より400mm以上とする。
 - 露出防水の場合 水上床躯体面より300mm以上とする。
- 防水層継ぎ手
 - 天端の水勾配 1/10以上とする。
 - 既製アルミ笠木1個の長さは2,000mm程度とすること。
 - アルミ笠木曲げ加工のジョイントピッチは2,000mm程度とすること。
 - アルミ笠木の取付強度は耐風圧計算書を確認すること。(アンカー径、ピッチ)

3. 防水層

- 種類及び仕様 国交省公共建築工事共通仕様による。

4. 防水保護コンクリート

- 原則として普通コンクリートとする。 $t=80\text{mm}$ 以上直押しとする。(モルタル仕上げ不可。溶接金網6φ100×100入れる) 車路、自走式ゴンドラ、ゴンドラ及び機械基礎回り、鉄骨造で大スパン等の場合。
- 配筋の要否、範囲を検討する。

5. 勾配

- アスファルト防水(保護あり) 1/75以上(スラブで勾配を取る)(国交省基準は1/100以上)
- 露出防水(アスファルト、又はシート) 1/50以上(スラブで勾配を取る)(国交省基準は1/100以上)
- 溝勾配 原則 1/200以上とする。(溝モルタルは $t=40$ 以上確保すること)

6. 伸縮調整目地

- 各部伸縮調整目地の仕様

部位	目地幅	目地位置
一般部	25mm	3.0m内外 4.0m以下
パラペットぎわ	25mm以上	溝のある場合 溝端より300mm以内 溝のない場合 立上がり面より600mm以内
排水溝のモルタル塗り部分	伸縮目地20mm(シーリング)	1.5m以上 2.0m以下

- 伸縮調整目地は成形伸縮調整目地材を使用し、品質は共通仕様書9.2.2の表9.2.3により、耐候性、熱伸縮を考慮し選定する。
- シール目地はMS-2:2成分反応性シリコン系シーリングとする。
- タイル仕上げの場合、保護コンクリートの伸縮調整目地とタイルの伸縮調整目地を同一位置にする。
- 設備機室、手すり基礎などは伸縮目地にまたがらないように配置する。
- 設備基礎がやむを得ずまたいだ場合は、基礎面より500mm以内に目地を設け、伸縮に影響しないように配置する。

D2-2 屋根廻り共通事項-2(続き)

7. ルーフドレン

- ストレーナーの形は右図による。
- 下げ代40mm程度を確保できない場合は、ドレン周辺のスラブを下げる。(スラブの薄い場合、断熱材の無い場合、ドレンの成が高い場合等)

8. たて樋

- 外部に設ける場合で、塩ビ管を使用する場合はVP管とする。たて樋受金物は、たて樋満水時の自重を支持する。
- 衝撃を受ける恐れのある部分には養生管を設ける。
- 屋内に設ける場合は原則として配管用調管(JIS 0 3452)白管とし、下図の納まりとする。

1. 開口距離の短い場合 2. 横引き管が長い場合

9. 呼び樋・横引き管

- 屋内に設ける場合は配管用調管(JIS 0 3452)白管とし、継手は鋼鉄製、又は、溶接用調管継手を用いる。

D2-4 軽鉄骨壁下地：下地張りのある場合

立面 1/50

断面 1/5

脚部

仕様

- スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共構仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
- 開口部補強材及び補強材取付け用金物は、防錆処理を行ったものとする。また、溶接箇所は錆止塗料を塗布する。

D2-6 アルミ庇

断面 1/5

脚部

仕様

- 手摺はステンレスパイプ42.7φ(LED内蔵型) or スチールパイプ42.7φ
- 手摺壁：RC化粧放し 2-FUE

D2-3 軽鉄骨壁下地：遮音壁の場合

立面 1/50

断面 1/5

脚部

仕様

- スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共構仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
- 開口部補強材及び補強材取付け用金物は、防錆処理を行ったものとする。また、溶接箇所は錆止塗料を塗布する。

D2-5 5mを超える軽鉄軸組補強要領

軸組 S=1/50

断面 1/5

脚部

仕様

- b材はa材の中央位置に配置すること。開口より位置がずれる場合は、c材長が5m以下になるようにb材を追加すること。
- 主フレーム柱及びトラス梁から取付止めを取り付けること。
- スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、100形の場合を示す。
- 開口部補強材及び補強材取付け用金物は防錆処理を行うこと。又、溶接箇所は錆止塗料を塗布すること。

D2-7 屋外階段 詳細

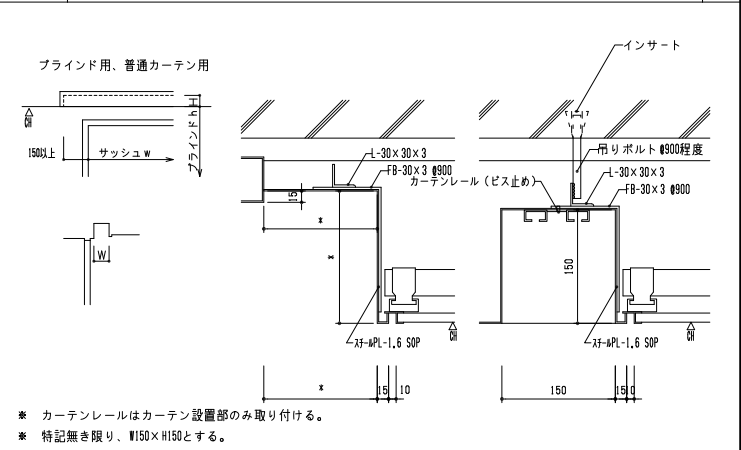
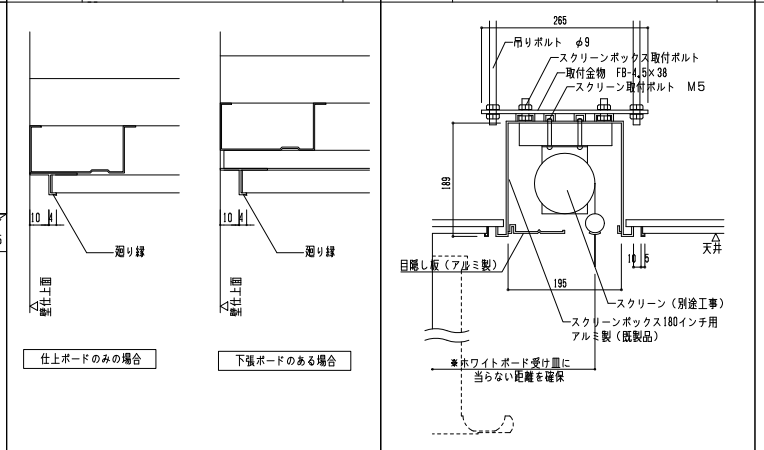
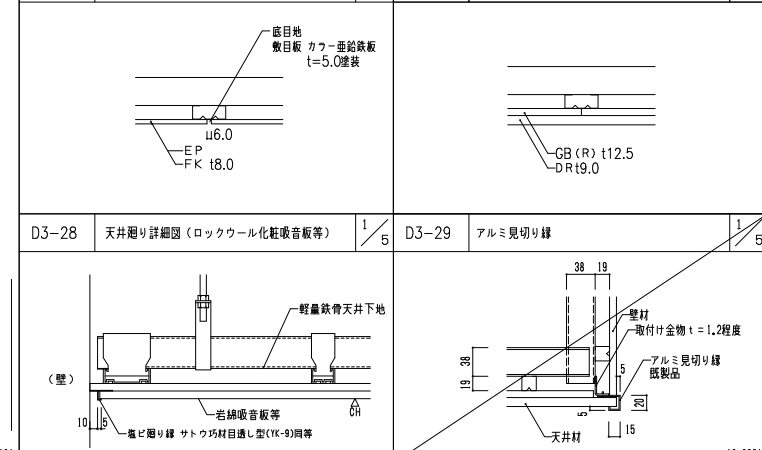
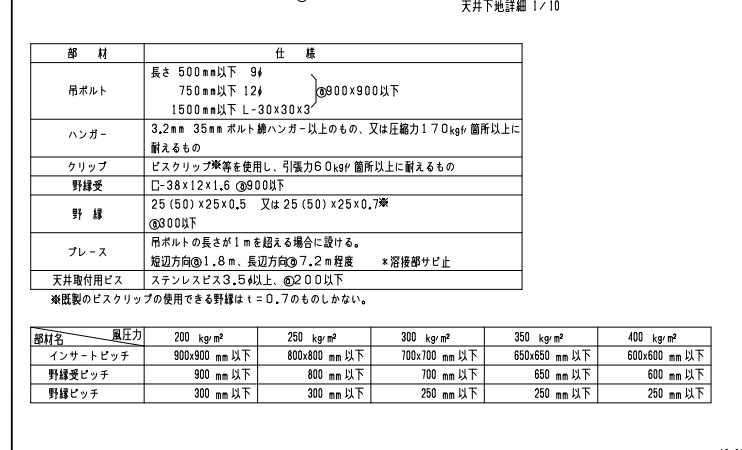
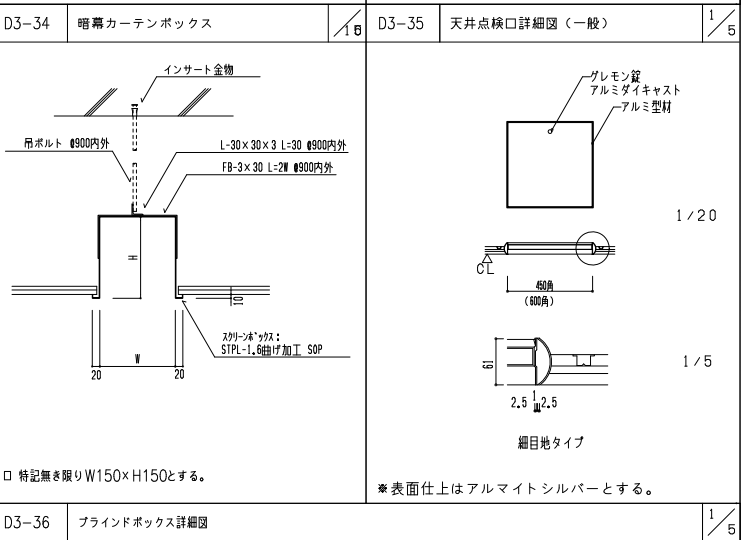
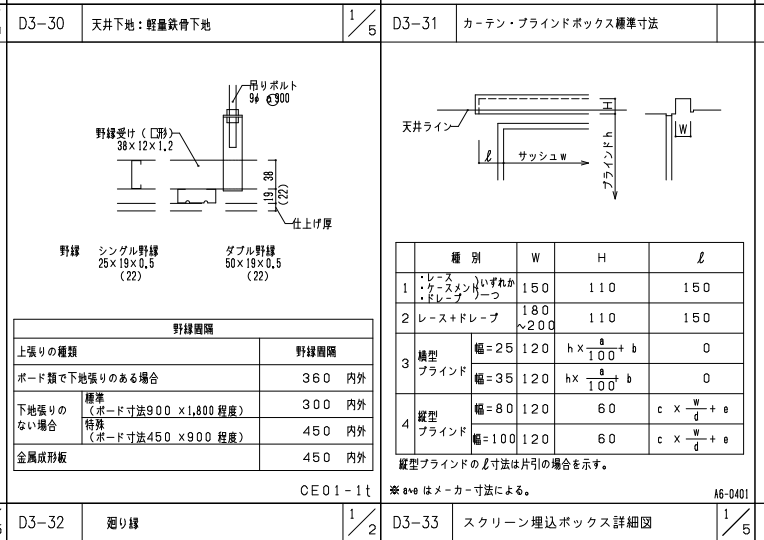
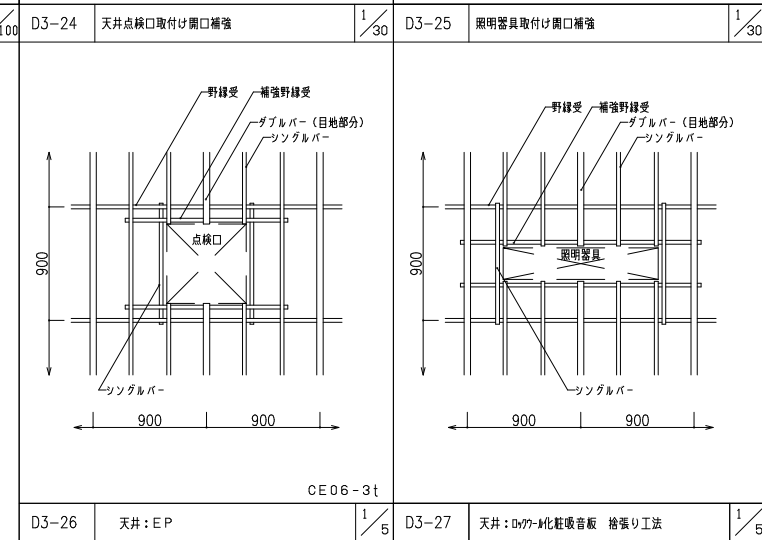
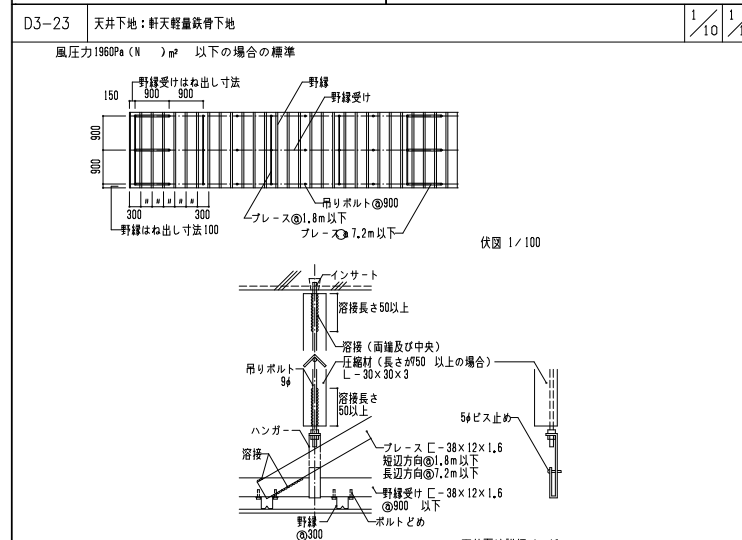
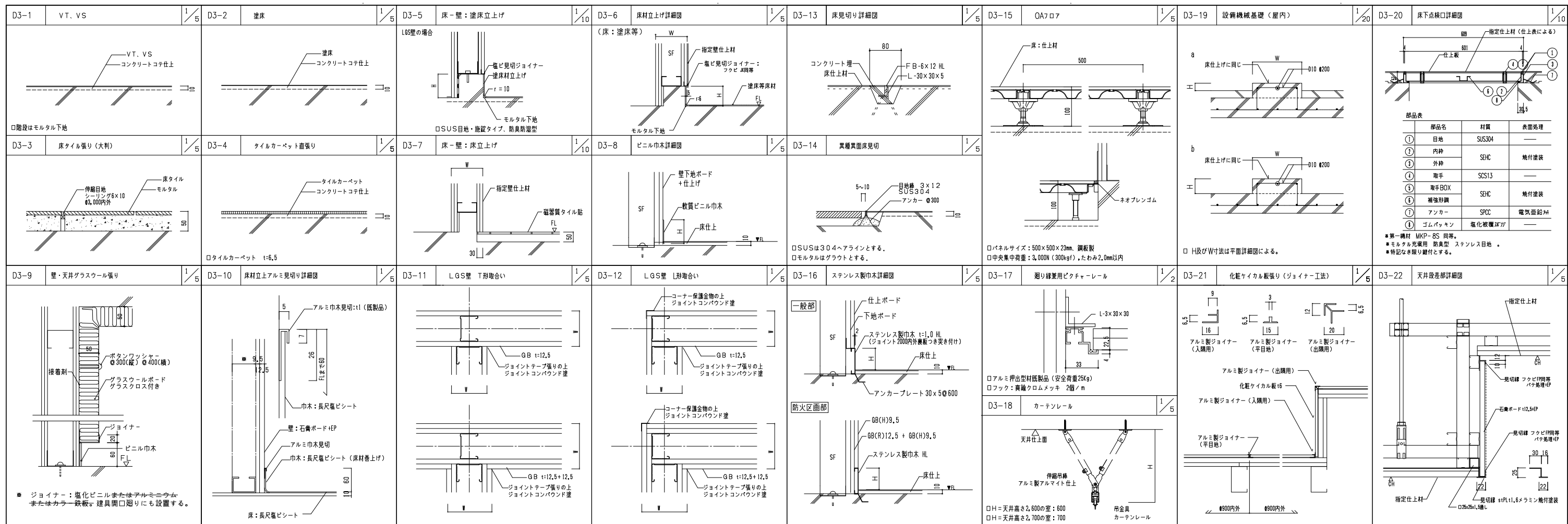
断面 1/20

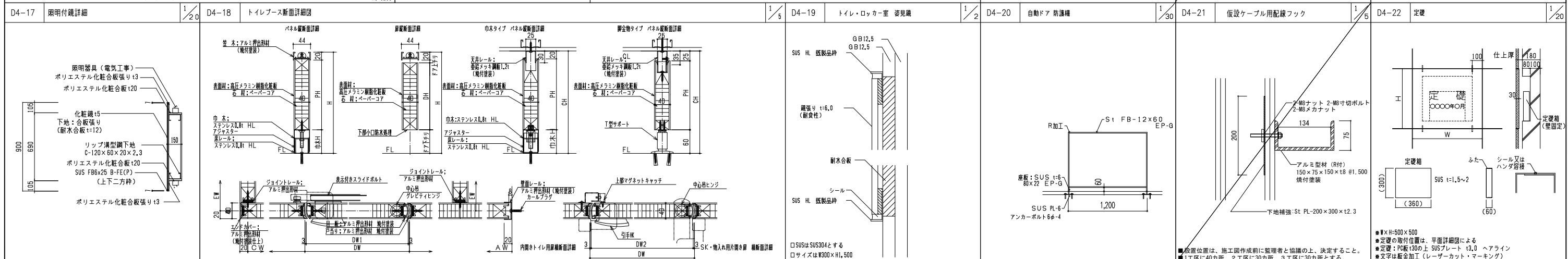
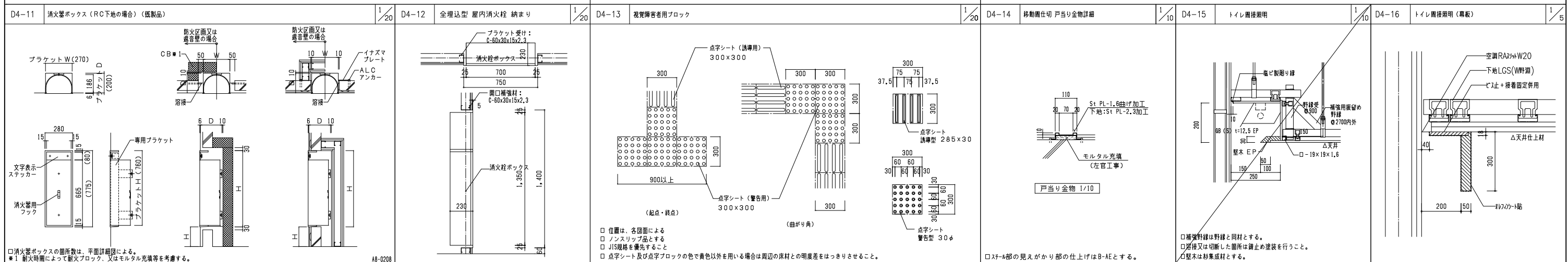
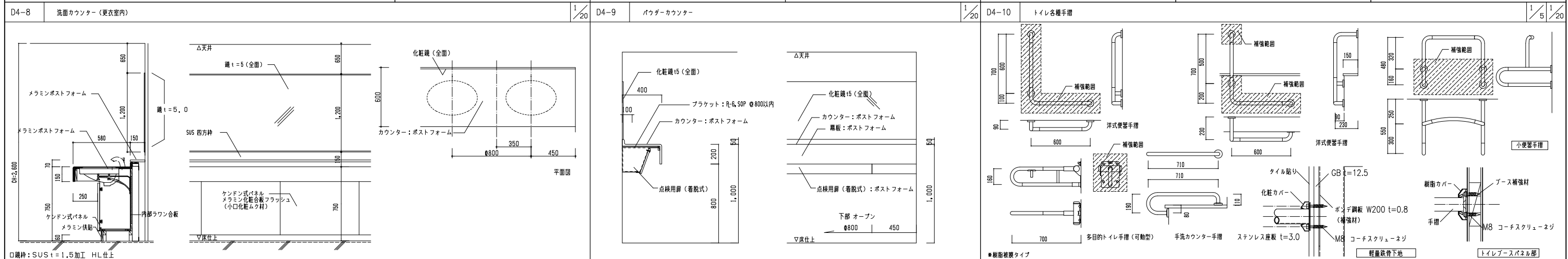
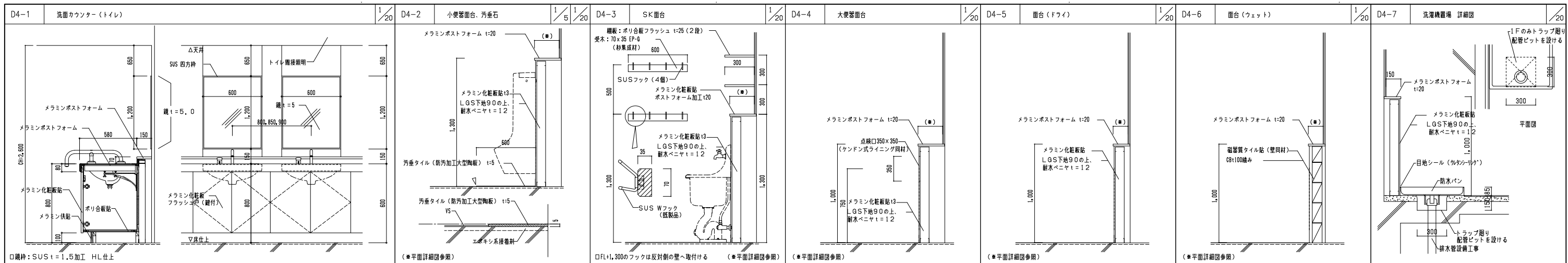
脚部

仕様

- 手摺壁：RC化粧放し 2-FUE

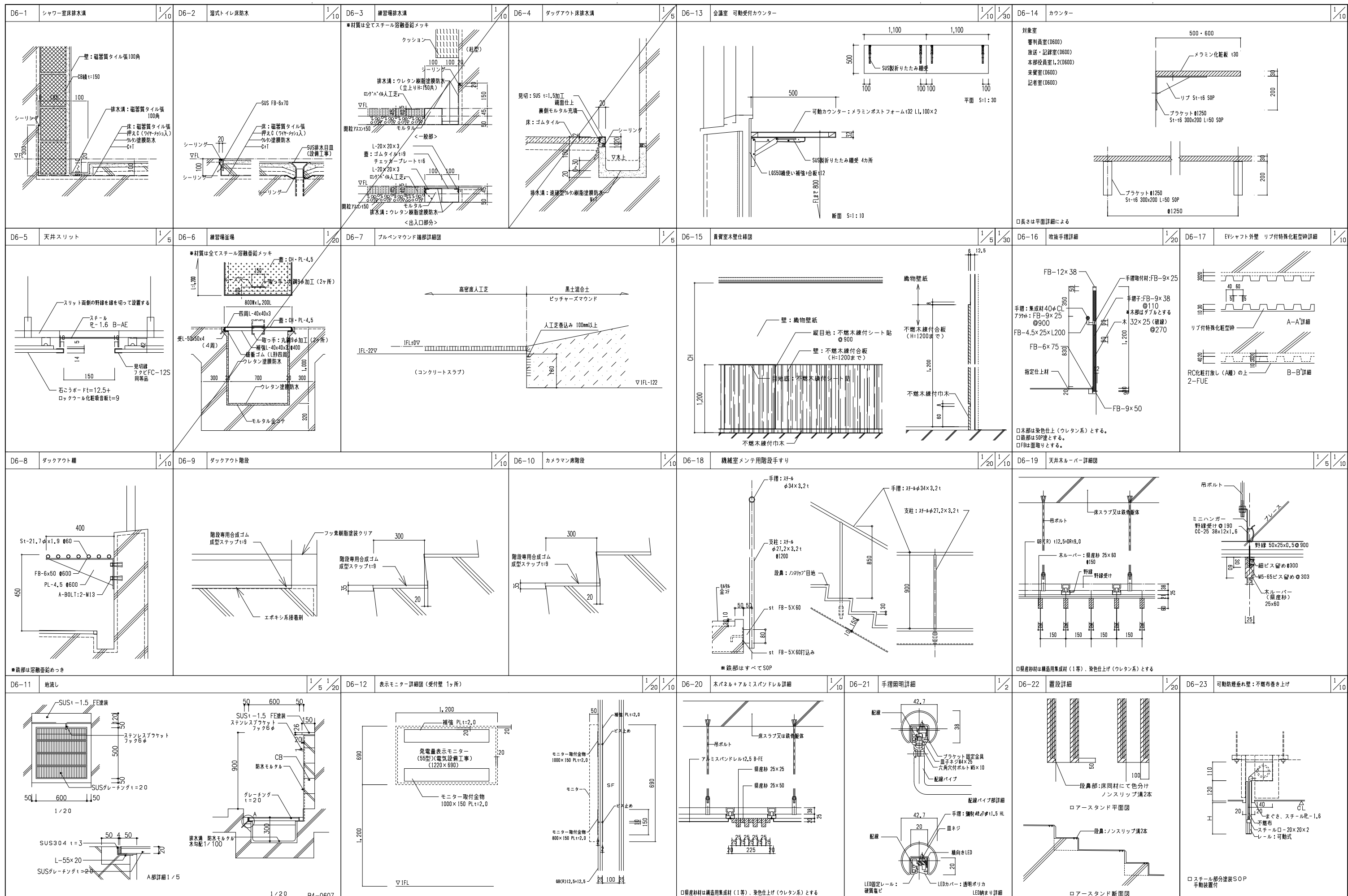
設計者	法適合確認種	検査者	設計番号	特記
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匡希	一級建築士 第000000号 池田 爽	一級建築士 第313839号 高原 正行
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匡希	一級建築士 第000000号 池田 爽	一級建築士 第313839号 高原 正行
設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	法適合確認種	検査者 外山 博文	設計番号 17992	特記
徳島県県土整備部営繕課	徳島県徳島市総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(第1工区)	徳島県 徳島市 徳島県庁舎	徳島県 徳島市 徳島県庁舎	徳島県 徳島市 徳島県庁舎
図面番号 A-120	縮尺 図示(A1) 図示/2(A3)	図面番号 A-120	縮尺 図示(A1) 図示/2(A3)	図面番号 A-120
AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社		MIYA Architect's Office 株式会社 宮建築設計		一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第1105号



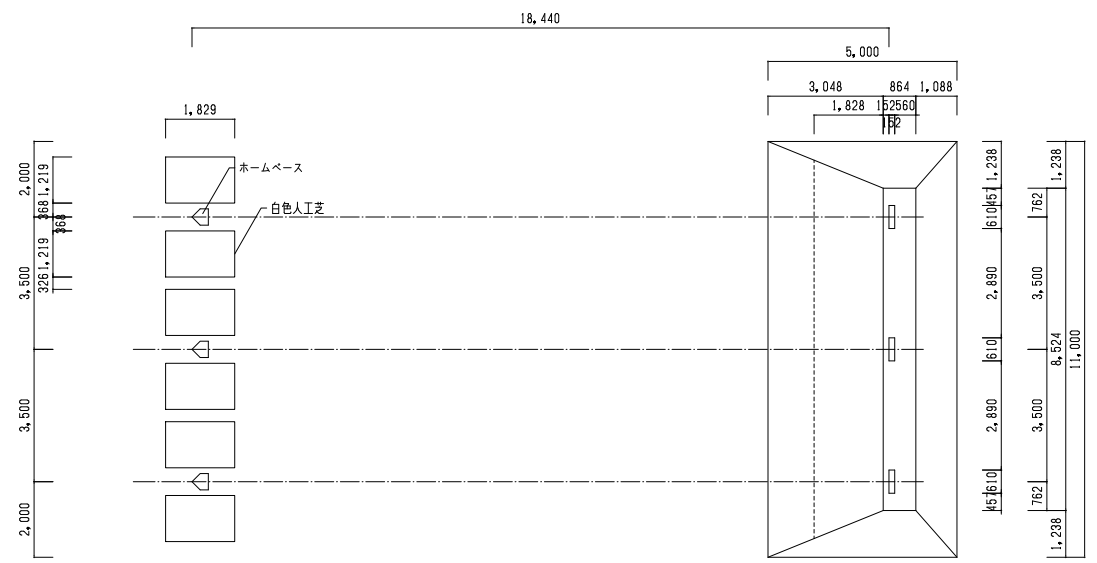


一級建築士 第286776号 渡邊 和幸		一級建築士 第298249号 土生 達哉		一級建築士 第386121号 山本 匠希		一級建築士 第000000号 梅垣 大雅		一級建築士 第313839号 池田 爽		一級建築士 第000000号 高原 正行		一級建築士 第313839号 浅山 明		一級建築士 第000000号 外山 博文	
設計者		設計者		設計者		設計者		設計者		設計者		設計者		設計者	
一級建築士 第286776号		一級建築士 第298249号		一級建築士 第386121号		一級建築士 第000000号		一級建築士 第313839号		一級建築士 第000000号		一級建築士 第313839号		一級建築士 第000000号	
設計者		設計者		設計者		設計者		設計者		設計者		設計者		設計者	
山本 匠希		土生 達哉		渡邊 和幸		梅垣 大雅		池田 爽		高原 正行		浅山 明		外山 博文	

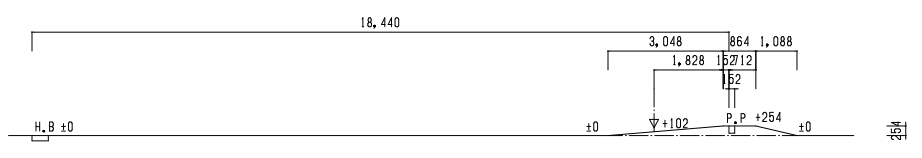
<p>D5-1 観客席通路階段</p> <p>RC階段版はエポキシ樹脂系接着剤にて固定。</p>	<p>D5-2 階段：ノンスリップ</p> <p>仕様が詳細寸法は、メーカー仕様による 階段位上面と段差が生じないように注意すること 段差の識別がしやすい、床仕上材と明度差の大きい色とすること</p>	<p>D5-3 屋内階段室 手摺</p>	<p>D5-6 ウェットエリア 排水溝 詳細</p> <p>ロッカー室 シャワーコーナー</p>	<p>D5-7 EXP. J下部 SUS製 天井取り合い詳細</p>	<p>D5-8 樹脂製グレーチング 250角</p>																																				
<p>D5-4 階段下もぐり込み防止柵</p>	<p>D5-5 湯沸室 キッチン</p> <p>台下 給湯器 (12リットル) 付</p>		<p>D5-9 見切り縁 (シャワー室)</p>	<p>D5-10 洗濯機置場 詳細図</p>	<p>D5-11 多目的更衣室 シャワーコーナー 床・壁 防水納まり</p>																																				
<p>D5-12 シャワーブース 全物詳細図</p> <p>口衛生器具、シャワーフック、照明器具は設備工事</p>	<p>D5-13 アルミパネル詳細図</p>	<p>D5-14 シャワー室 排水溝</p>	<p>D5-16 シャワーブース詳細図 (参考図)</p>	<p>D5-17 前護パッド</p> <p>取付位置 S=1/50</p>	<p>D5-18 アルミスパンデル詳細図</p>																																				
<p>D5-19 湿式 WC SF壁巾木</p>	<p>D5-20 湿式 WC床防水</p>	<p>D5-21 折り上げ天井詳細図</p>	<p>D5-22 折り上げ天井詳細図</p>	<p>D5-23 折り上げ天井詳細図</p>	<p>D5-24 折り上げ天井詳細図</p>																																				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">設計者</td> <td>法適合確認</td> <td>検査者</td> <td>設計番号</td> <td>特記</td> </tr> <tr> <td>一級建築士 第286776号 渡邊 和幸</td> <td>一級建築士 第298249号 土生 達哉</td> <td>一級建築士 第386121号 山本 匠希</td> <td>一級建築士 第000000号 梅垣 大雅</td> <td>一級建築士 第313839号 池田 爽</td> <td>一級建築士 第000000号 高原 正行</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計者</td> <td>法適合確認</td> <td>検査者</td> <td>設計番号</td> <td>特記</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第286776号 渡邊 和幸</td> <td>第386121号 山本 匠希</td> <td>第313839号 梅垣 大雅</td> <td>第000000号 池田 爽</td> <td>第313839号 高原 正行</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計者</td> <td>法適合確認</td> <td>検査者</td> <td>設計番号</td> <td>特記</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第286776号 渡邊 和幸</td> <td>第386121号 山本 匠希</td> <td>第313839号 梅垣 大雅</td> <td>第000000号 池田 爽</td> <td>第313839号 高原 正行</td> </tr> </table> <p>徳島県県土整備部管轄課 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事 (第1工区)</p> <p>図面番号 A-123 縮尺 図示(C1) 図示/2(C43)</p> <p>株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office</p> <p>株式会社 阿西支社 AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants</p> <p>一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第11050号</p>						設計者		法適合確認	検査者	設計番号	特記	一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽	一級建築士 第000000号 高原 正行	設計者		法適合確認	検査者	設計番号	特記	第286776号 渡邊 和幸		第386121号 山本 匠希	第313839号 梅垣 大雅	第000000号 池田 爽	第313839号 高原 正行	設計者		法適合確認	検査者	設計番号	特記	第286776号 渡邊 和幸		第386121号 山本 匠希	第313839号 梅垣 大雅	第000000号 池田 爽	第313839号 高原 正行
設計者		法適合確認	検査者	設計番号	特記																																				
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽	一級建築士 第000000号 高原 正行																																				
設計者		法適合確認	検査者	設計番号	特記																																				
第286776号 渡邊 和幸		第386121号 山本 匠希	第313839号 梅垣 大雅	第000000号 池田 爽	第313839号 高原 正行																																				
設計者		法適合確認	検査者	設計番号	特記																																				
第286776号 渡邊 和幸		第386121号 山本 匠希	第313839号 梅垣 大雅	第000000号 池田 爽	第313839号 高原 正行																																				



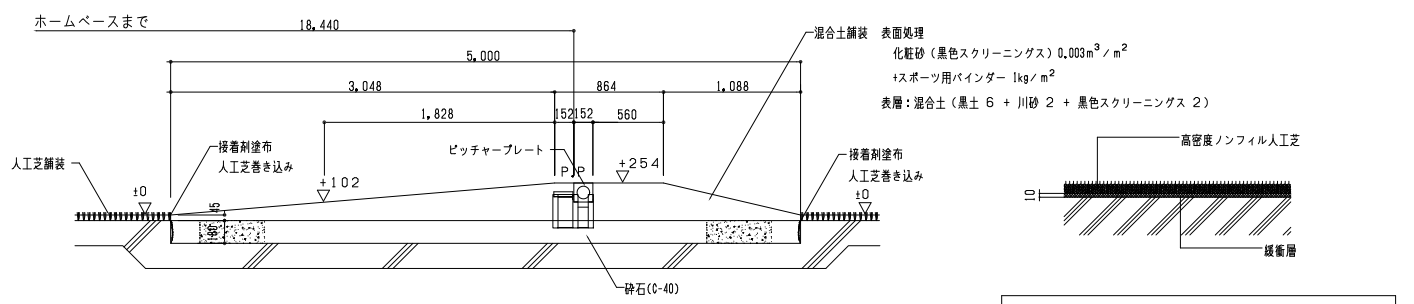
<p>設計者</p> <p>一級建築士 第286776号 渡邊 和幸</p> <p>一級建築士 第298249号 土生 達哉</p> <p>一級建築士 第386121号 山本 匠希</p> <p>一級建築士 第000000号 梅垣 大雅</p> <p>一級建築士 第313839号 池田 葵</p> <p>一級建築士 第000000号 高原 正行</p>	<p>法適合確認欄</p> <p>設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明</p> <p>検査者 外山 博文</p>	<p>設計番号 17992</p> <p>特記</p>	<p>●工事名</p> <p>徳島県県土整備部管轄課 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(第1工区)</p> <p>●図面番号</p> <p>部分詳細図(6)</p>	<p>●図面番号</p> <p>A-124</p> <p>●縮尺</p> <p>図示(A1) 図示(A3)</p>	<p>AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants</p> <p>株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所 大阪 (〒) 第3204号</p> <p>MIYA Architect's Office 株式会社 宮建築設計 一級建築士事務所 徳島県鳴門郡第1105号</p>
---	---	-----------------------------	---	---	---



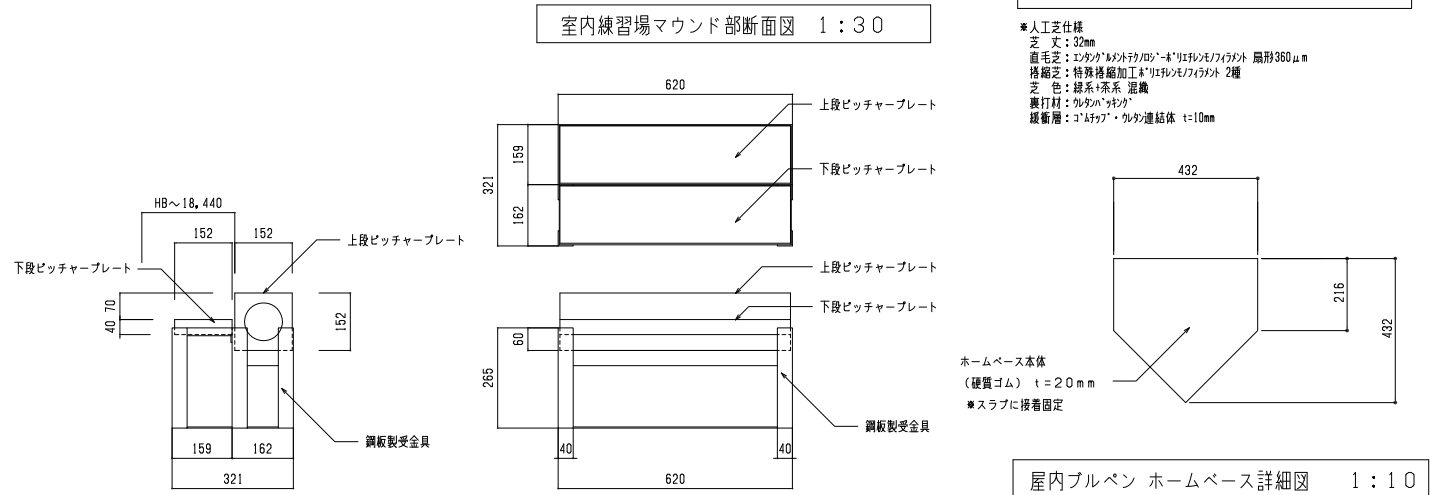
ブルペン平面図 S=1:100



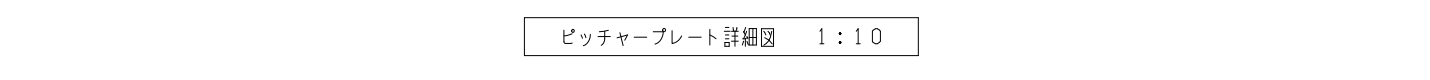
ブルペン断面図 S=1:100
HBとPPの高低差を254mmとする。



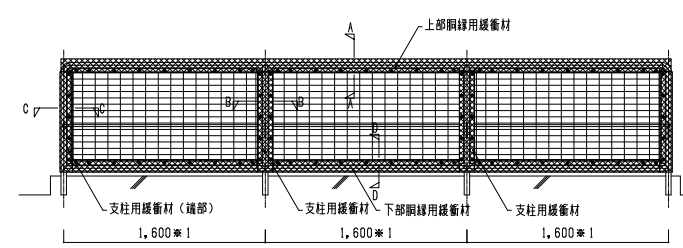
室内練習場人工芝舗装断面図 1:10



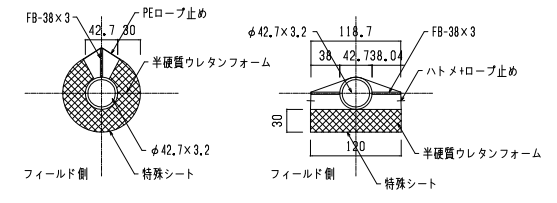
屋内ブルペン ホームベース詳細図 1:10



ピッチャープレート詳細図 1:10

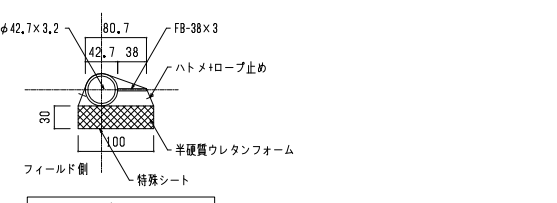


ダグアウト前フェンス緩衝材立面図 S=1/30



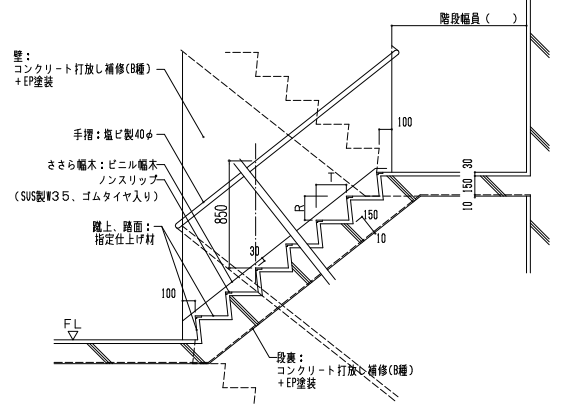
A-A断面図 S=1/5
*上部胴縁用緩衝材

B-B断面図 S=1/5
*支柱用緩衝材

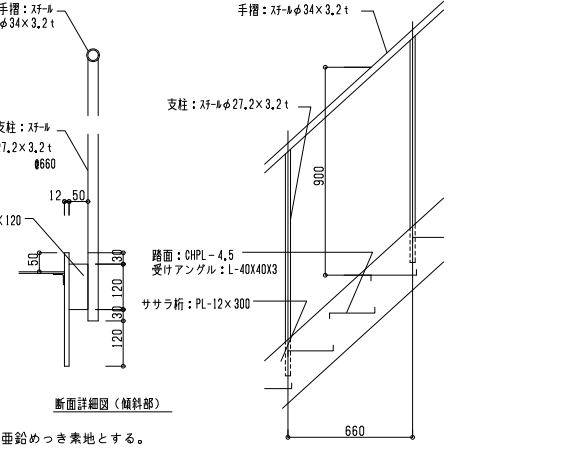


C-C, D-D断面図 S=1/5
*支柱用緩衝材(端部)、下部胴縁用緩衝材

口*1寸法は防球ネット詳細図(1)による

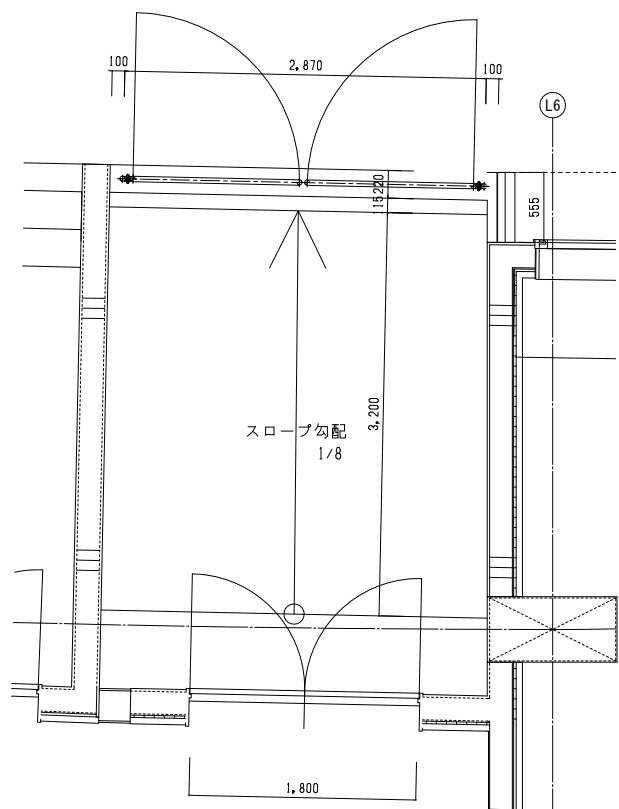


47-0602 t

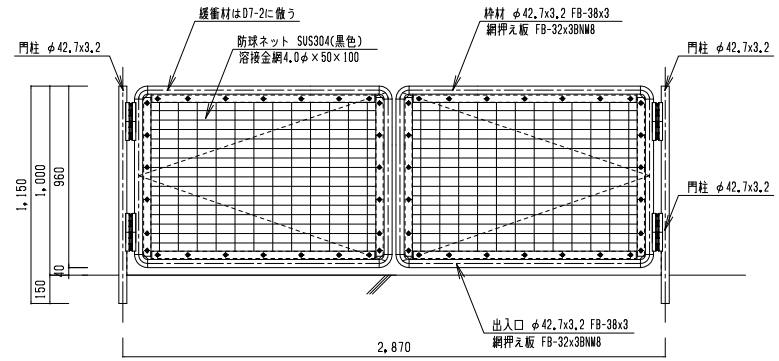


断面詳細図(材料部)

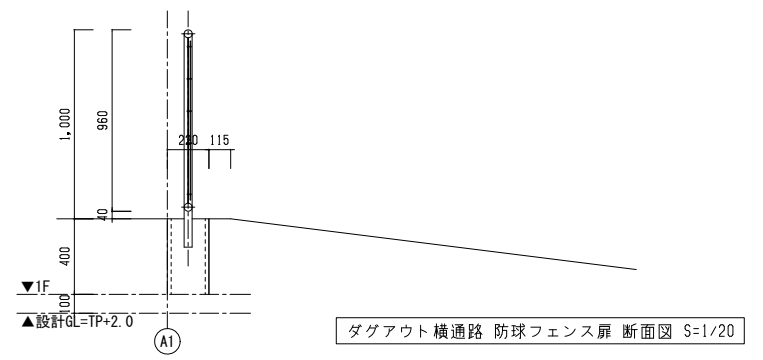
口鉄部は溶融垂鉛めっき業地とする。



ダグアウト横通路 防球フェンス扉 平面図 S=1/30
*本図は3墨側を示す。1墨側は対称とする。



ダグアウト横通路 防球フェンス扉 立面図 S=1/20

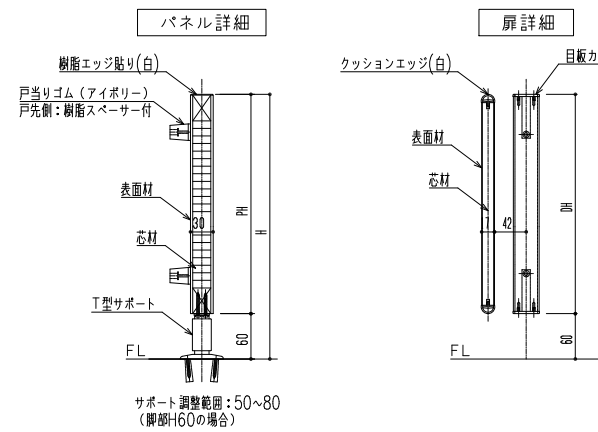
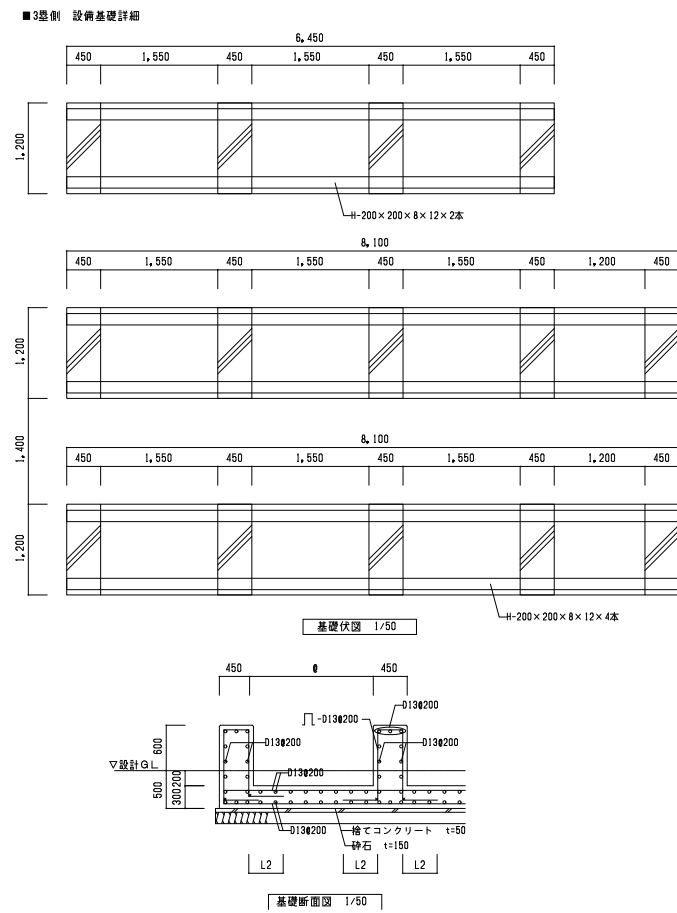
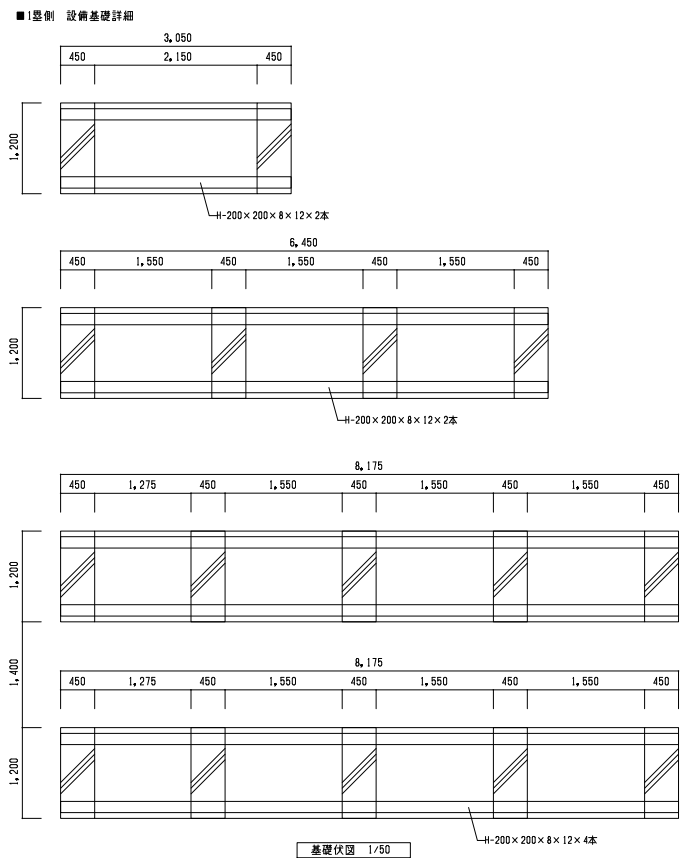


ダグアウト横通路 防球フェンス扉 断面図 S=1/20

(注記)

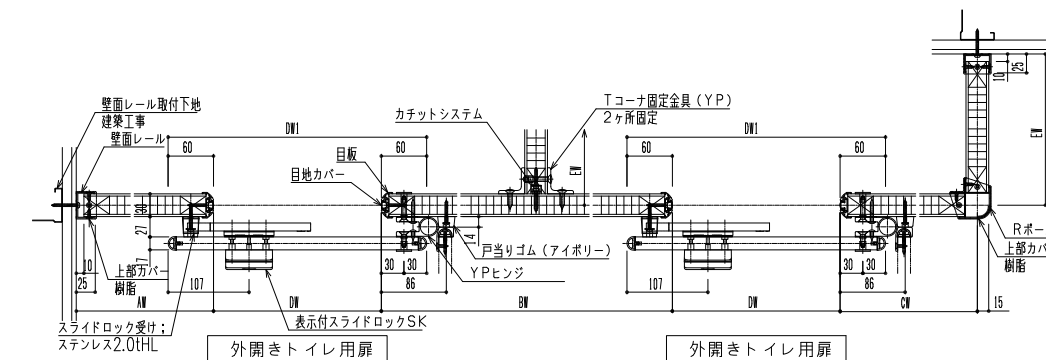
- 1) 防球ネットは、溶接金網4.0φ×50×100 SUS304 酸化皮膜処理(黒色)とする。
- 2) 鋼材類はSTK400及びSS400とし、溶融垂鉛メッキの上粉体塗装仕上げとする。
- 3) ボルト・ナット類は、溶融垂鉛メッキ仕上げとする。
- 4) 防球フェンスはD7-2に倣い緩衝材を設置すること。

設計者	法適合確認欄	検査者	設計番号	特記
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸	一級建築士 第298249号 土生 達哉	一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽
一級建築士 第386121号 山本 匠希	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽	一級建築士 第000000号 梅垣 大雅	一級建築士 第313839号 池田 爽
設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明	設備設計一級建築士 第6211号 浅山 明
徳島県土木整備部管轄課	徳島県土木整備部管轄課	徳島県土木整備部管轄課	徳島県土木整備部管轄課	徳島県土木整備部管轄課
●工事名 徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(第1工区)	●図面番号 A-125	●縮尺 図示(A1) 図示/2(A3)	●設計者 AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所 大阪 (〒) 第3204号	●監理者 宮建築設計 MIYA Architect's Office 一級建築士事務所 京都 徳島県野球場建設 11050号

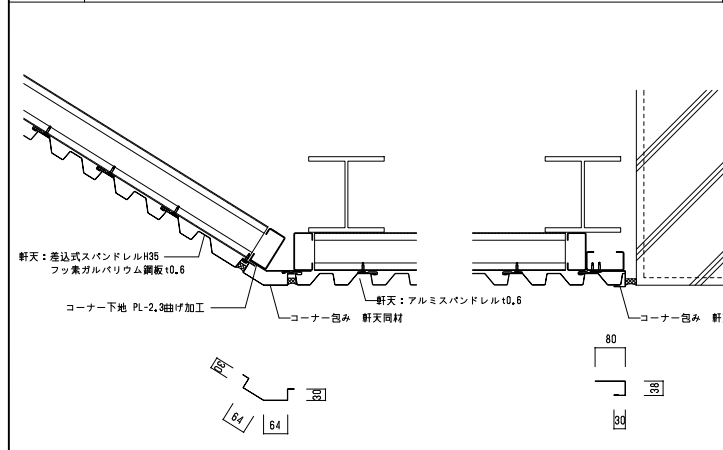
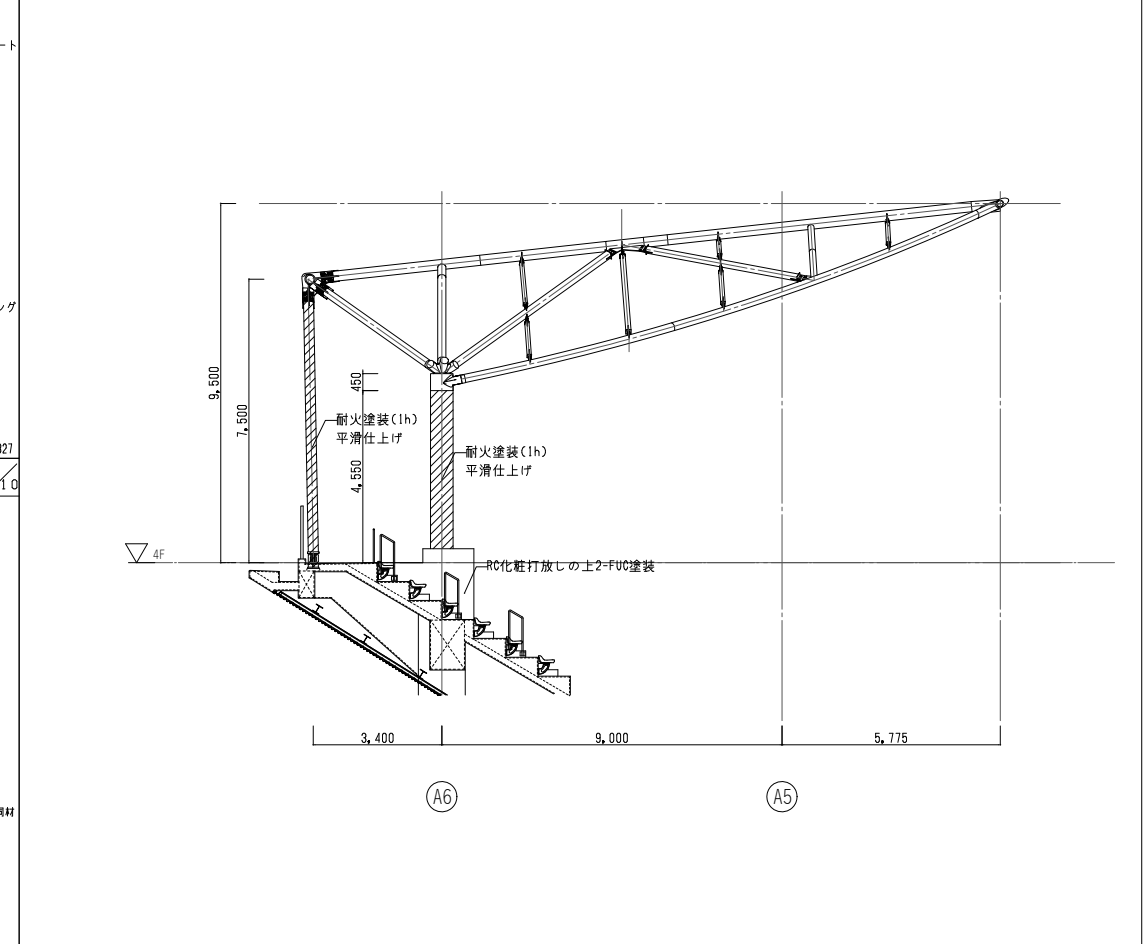
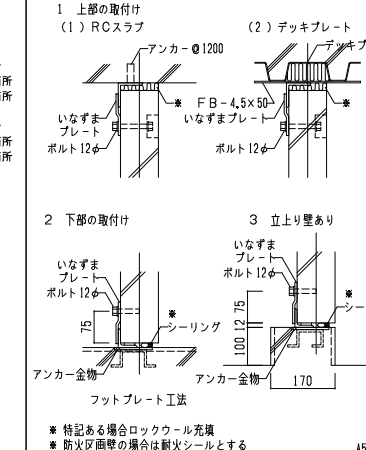
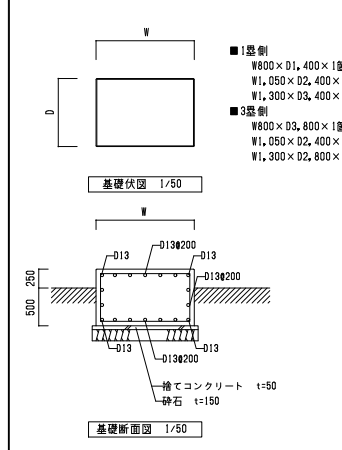


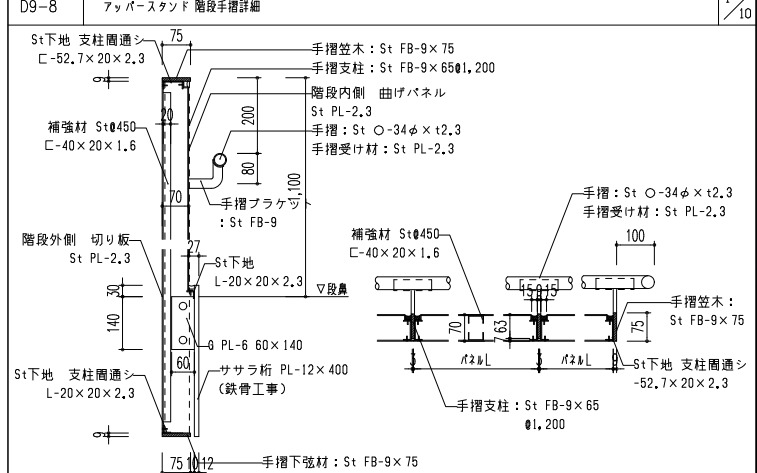
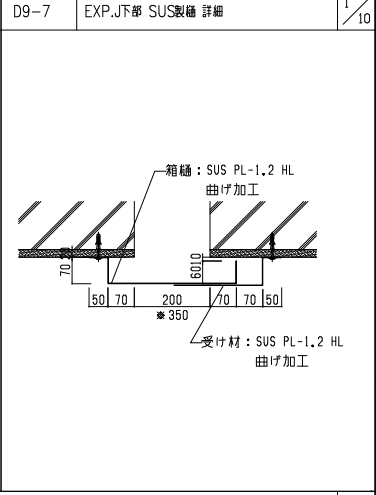
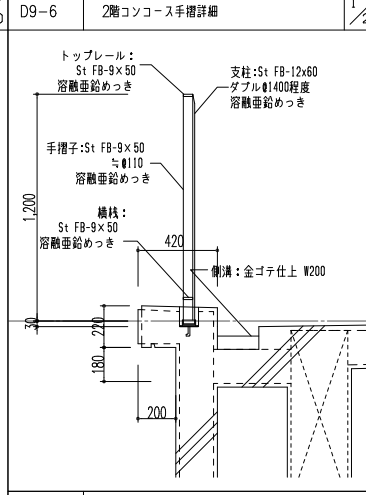
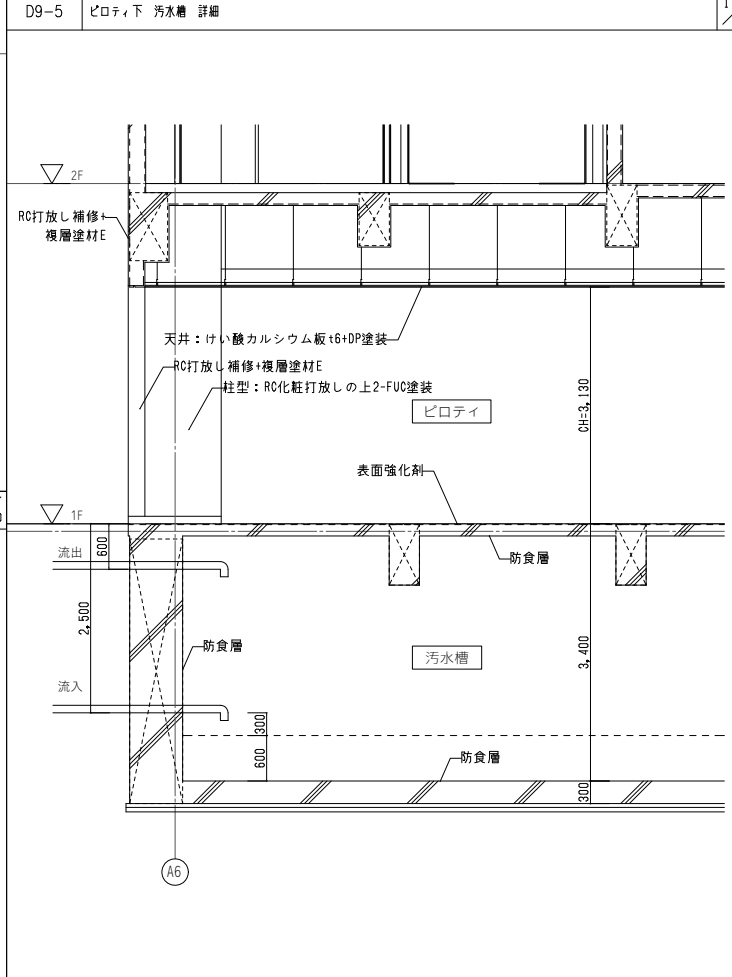
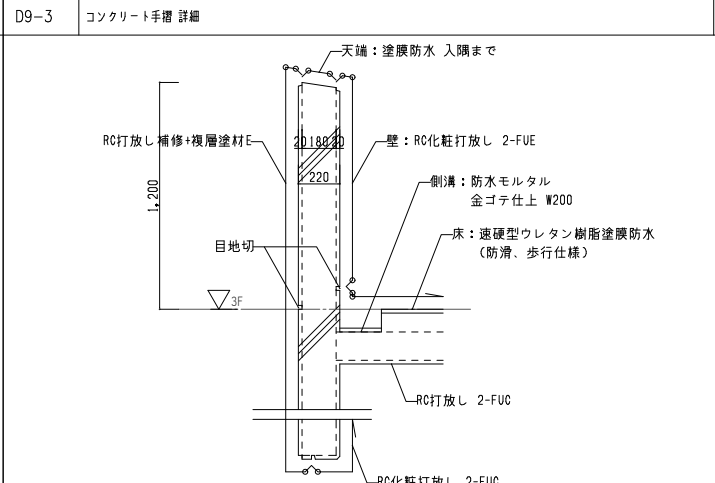
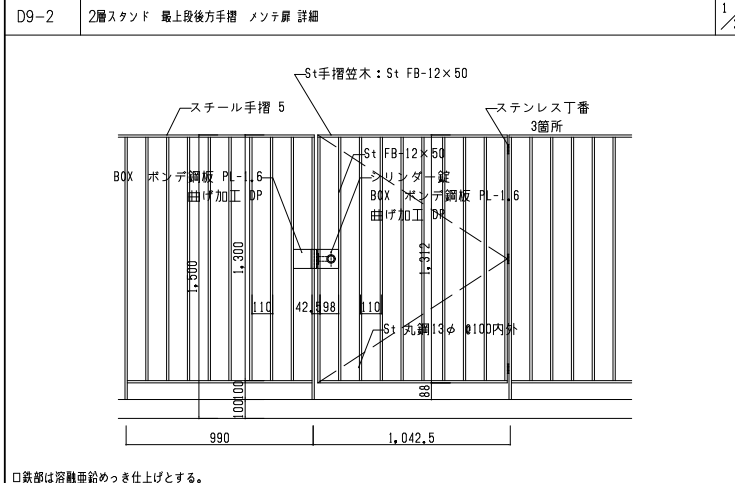
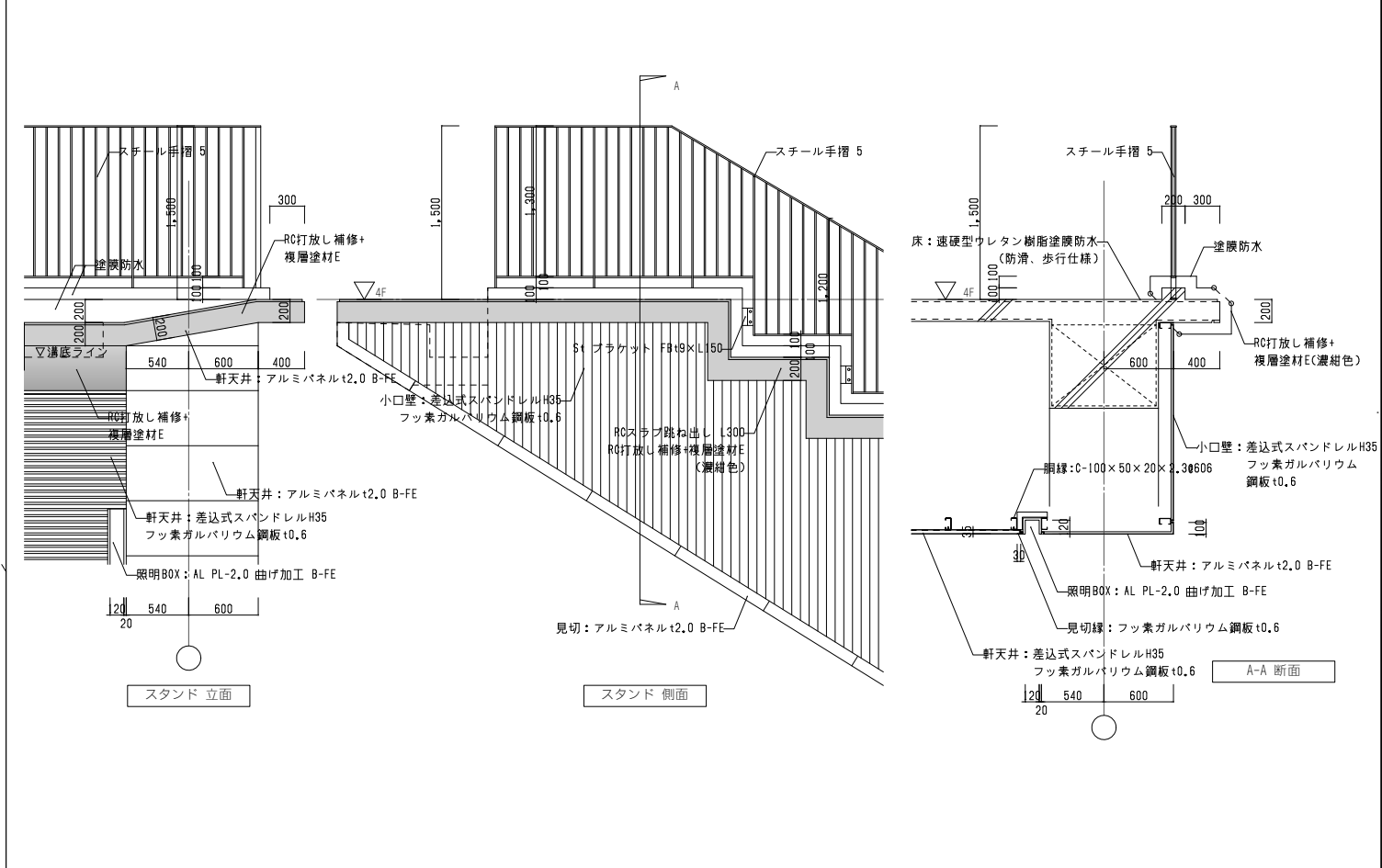
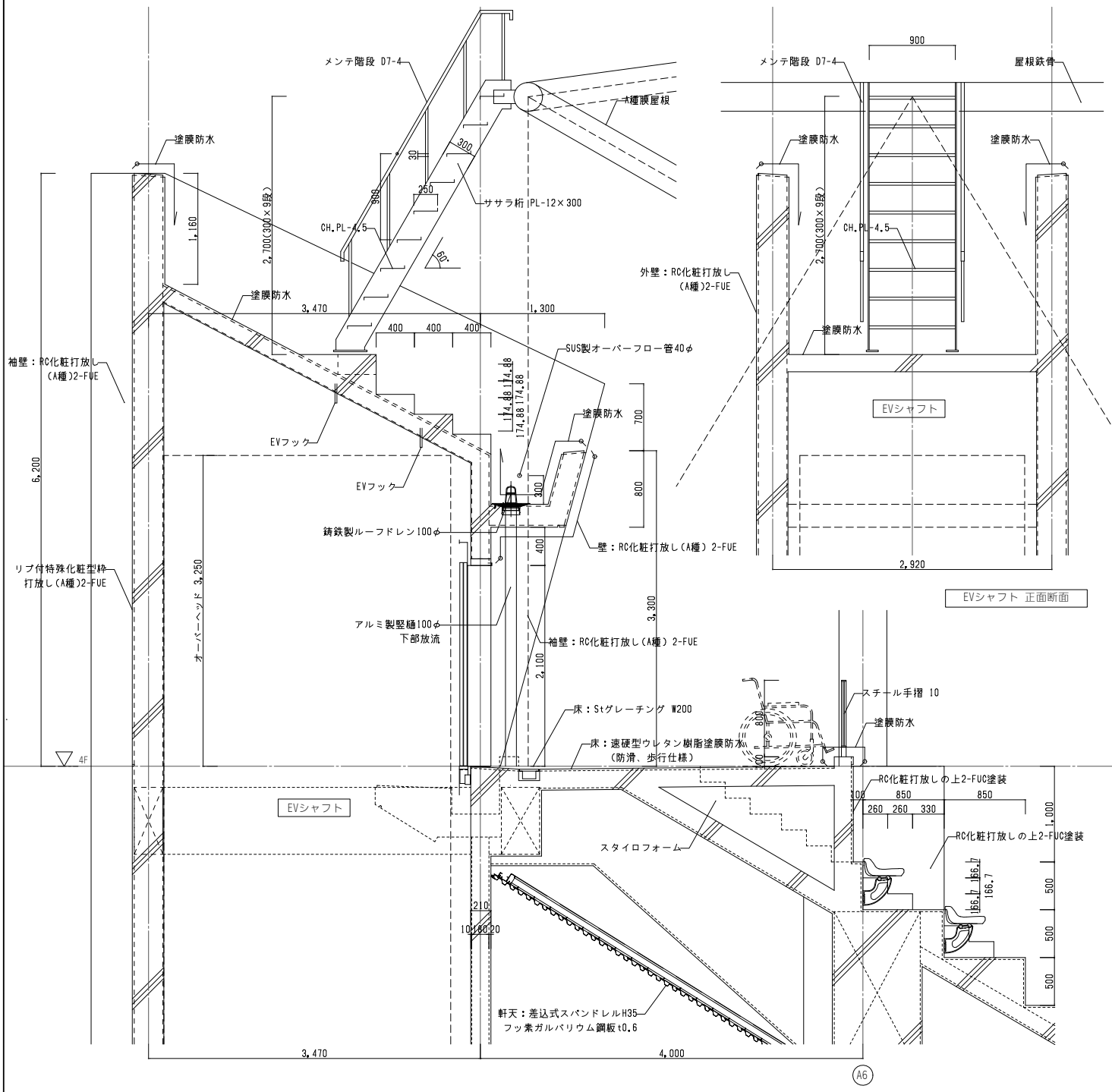
仕様表

項目	部材	材料(板厚mm)
パネル	パネル表面材	高压メラミン樹脂化粧板(下地:MDF)
	芯材	ペーパーコア
	エッジ	アルミ押出材材 <アルマイトクリア処理仕上>
ドア	パネル表面材	高压メラミン樹脂化粧板
	芯材	パーティクルボード15mm
付属品	脚部	サポート: ステンレス <ヘアライン仕上>
	ロック	表示付スライドロックSK
	ヒンジ	YPヒンジ
	その他金物	垂鈴ダイキャスト



参考図





D9-2 2層スタンド 最上段後方手摺 メンテ部 詳細 1/20				D9-3 コンクリート手摺 詳細 1/20				D9-5 ビロティ下 汚水槽 詳細 1/50				D9-6 2階コンコース手摺詳細 1/20				D9-7 EXP.JF部 SUS製欄 詳細 1/10				D9-8 アッパースタンド 階段手摺詳細 1/10			
設計者		法適合確認職		検証者		設計番号		特記		徳島県県土整備部宮崎課		●工事名		●図面番号		●縮尺		AZUSA SEKKEI		MIYA Architect's Office			
一級建築士 第286776号 渡邊 和幸		一級建築士 第298249号 土生 達哉		一級建築士 第386121号 山本 匠希		一級建築士 第000000号 梅垣 大雅		一級建築士 第313839号 池田 爽		一級建築士 第000000号 高原 正行		一級建築士 第2111号 浅山 明		外山 博文		17992		●図面名 部分詳細図(9)		AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants		株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office	
																		株式会社 梓設計 関西支社		一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第11050号			